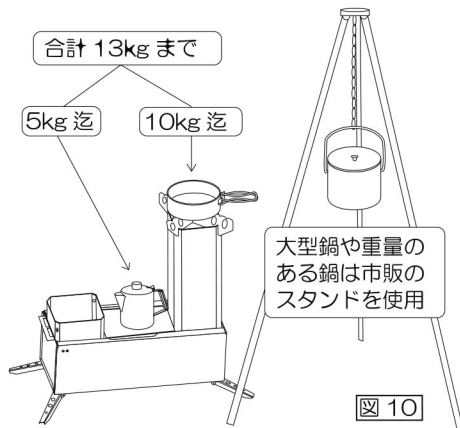


12 調理をする

- 煙突上で調理する
 - ・ 中火～強火料理に適します。
 - ・ 耐荷重は 10kg まで
 - ・ 煙突がぐらつくことがあります。
- 上蓋で調理する
 - ・ 鍋を安定した状態でのせられます。
 - ・ 耐荷重 5kg までになります。
 - ・ 保温～煮込み料理に適します。
- 2か所同時に調理する
 - ・ 耐荷重は合計で 13kg までになります。



調理中の注意

- ・ ゴトクからはみ出すサイズの鍋や深さのある鍋を使用する際は必ず市販の焚き火用三脚を併用してください。
- ・ 鍋などをのせる際煙突のぐらつきにより不意に落下しないよう、バランス良くのせてください。
- ・ 調理中は鍋の落下に注意して、お子様やペットが不意に近づかないよう周囲の安全にご配慮ください。
- ・ 調理中は突然火力が強くなったり、火の粉によりやけどをする危険性があります。必ず熱さに強い防災の手袋を着用してください。
- ・ 使用する調理器具によってはハンドルが高温になり器具が破損する場合があります。鍋の位置と火力を適時調整の上ご使用ください。

13 消火方法

- ① 灰になるまで燃料を完全に燃焼させます。
 - ② 完全に火が消え本体がさめたことを確認してください。
 - ③ 焚口側の横蓋を開け中の灰を取り出します。
取り出した灰は、キャンプ場や自治体の指示に従って炭捨て場や、燃えるごみなどとして適切に処理してください。
- ※ ・ 灰は炎が見えなくても火が残っている場合があります。温度が下がるまでは絶対に触れたり他のゴミと一緒にしないでください。
- ・ コンロに水をかけて消火しないでください。コンロが破損します。
 - ・ 灰が目に入ったり吸い込まないように注意してください。

14 収納方法

- ① 滑りにくい手袋を着用してください。
- ② 本体が完全にさめたことを確認してください。
- ③ 汚れや灰、ヤニをナイロンブラシ、乾いた布等を使用してよく落とします。
- ④ 組立と逆の手順で収納します。
- ⑤ 湿度を避け安全な場所で保管してください。

輸入販売元： **株式会社 カンセキ**

〒321-0158 栃木県宇都宮市西川田本町 3-1-1

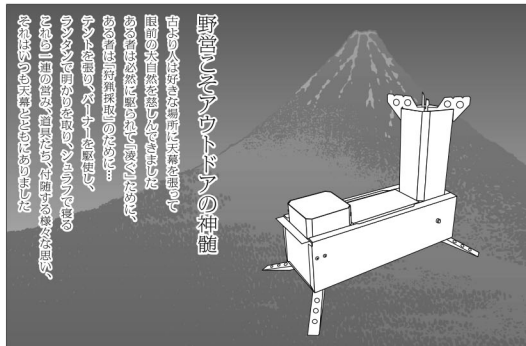


MADE IN CHINA



取扱説明書

TM-RS 次世代型ロケットストーブ 「マキコン」



品質表示

材質：ステンレス
 本体重量(約)：4.8kg
 製品サイズ(約)
 使用時/長さ56cm×幅31cm×高さ50cm
 収納時/長さ45cm×幅16cm×高さ15cm

耐荷重

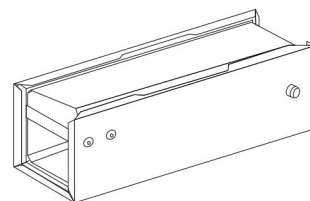
煙突上 10kg・① / 上蓋 5kg・②

①～②を同時に使用する場合 **合計 13kg まで**

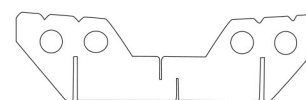
このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
 使用前にこの説明書に記載の注意事項及び使用方法をよくご理解いただき正しくお使いください。
 また、説明書は製品とともに保管し、必要に応じてご確認くださいませようお願いいたします。

セット内容

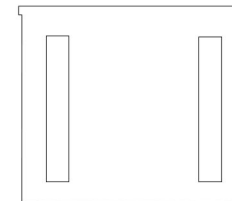
本体 × 1



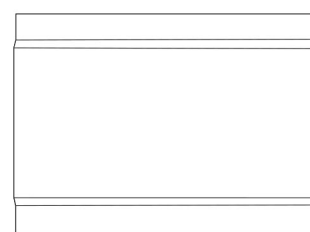
ゴトク × 2



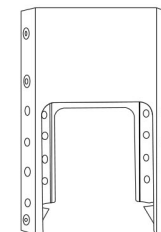
煙突側横蓋 × 1



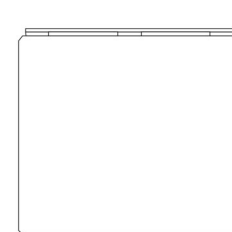
上蓋 × 1



焚口 × 1



焚口側横蓋 × 1



ご使用前に 必ず下記注意事項をよく読み安全にご使用ください。

危害、損害の程度を3つに分けて表示しております。

- 危険・・・この表示事項を守らないと、中毒・爆発・火災・事故などにより死亡又は重傷を負う人身事故が生じます。
- 警告・・・この表示事項を守らないと、火災やその他事故などにより死亡又は重傷を負う事故につながる可能性があります。
- 注意・・・この表示事項を守らないと、火災やその他事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

⚠ 危険

- テント内、車の中、屋内など換気の悪い場所での使用禁止
一酸化炭素中毒、酸欠、燃焼ガスによる中毒、火災の原因となり重度障害や死亡事故の原因となります。
- 火気使用制限区域内では使用しないでください。
- 燃えやすい物や熱による影響を受けやすい物から横方向に50cm以上、上方向120cm以上はなして設置してください。
- 燃焼中は焚口や煙突部分をのぞきこまないでください。
- 指定燃料以外での使用禁止
 - 指定燃料・・・木材・松かさ・落ち葉・樹皮類
[着火時のみ固形着火剤、紙類の使用可]
 - ×禁止燃料・・・液体燃料（ガソリン、灯油、アルコール、食用油、機械オイル等）
 - ・ジェル状燃料（着火剤）
 - ・コークス、木炭などの燃焼温度の高くなるもの
 - ・プラスチック、化学繊維などの高温で溶解する物
 - ・燃焼時に有害なガスを発生する物
- 可燃ガスの発生源、燃えやすい物のそば、熱による影響を受ける物のそばでは使用しないでください。
- 燃焼中及び本体が高温になっているときは燃料容器を近づけないでください。
・・・（液体燃料、ガスボンベ、溶剤容器、着火用トーチ、ライターなど）

⚠ 警告

- 周辺に燃えやすいものが無い場所でご使用ください。
- ウッドデッキの上や燃えやすい草の上などで使用しないでください。
- 燃焼中は本製品を移動しないでください。
- 燃焼中や本体が熱いときは絶対に本体に触らないでください。
やむをえない理由で本体に触れる場合は耐熱性のある皮手袋等を着用し衣服や肌が本体に触れないようにご注意ください。
- 消火用の水や消火器を用意してすぐに消せる準備をしてから使用してください。

9 燃料を入れて着火します。

- ①焚口に良く乾燥した着火用の小枝や細い着火用の薪を入れます。
- ②焚口から火のついたマッチを落とし燃料に点火します。
- ③着火しにくい場合は、横蓋をあけて燃料に点火してください。
- ④市販のトーチバーナーを使用する際は耐熱性のある防災の手袋を必ず着用し、横蓋をあけて点火してください。

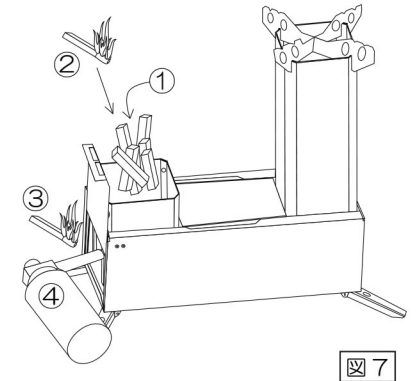


図7

着火用トーチ使用時の注意とお願い

着火用トーチの取り扱い、製品に付属する取扱説明書に従ってください。また、使用の際はコンロ本体やトーチの過熱、ガスボンベの過熱に注意してください。（着火後はコンロから離れた場所においてください。）

10 燃料のつぎたしと火力調整

- ①着火したら徐々に大きなサイズの燃料を追加します。
火力は薪の太さ、燃えやすさで調整します。（図8）

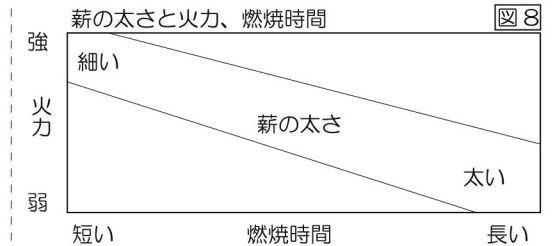


図8

- ②燃焼が進み炎が安定したら図9を参考に焚口の燃料の適正量を維持します。

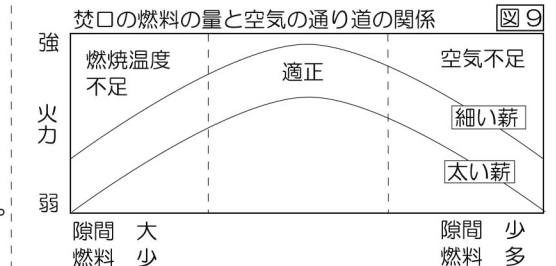


図9

- 燃料が少ない→温度が下がり十分な気流が発生しません。
- 燃料が多い →空気が不足します。

11 焚口から炎、煙が大量に出る場合の原因と対応

- 燃料の量が不適切・・・燃焼と空気の通り道のバランスがとれるよう、燃料を増減します。
- 燃料が湿っている・・・燃焼温度が下がり、気流が発生し難しくなっています。
燃えにくい燃料は火バサミなどで取除いてください。
- 煙突側の温度低下・・・焚口側から煙突側に炎が流れるよう、焚口から風を送りこむ。
やけどしないよう注意しながら煙突側の足を少し持ち上げ傾斜をつける。

6 使用できる燃料の種類について

本製品は木材、松かさなどを指定燃料とします。(以下燃料と表記)

※使用禁止※

ガソリンなどの液体、ジェル状燃料、プラスチック樹脂類、有害ガスの発生の恐れのある廃材は使用しないでください。

7 燃料を準備します

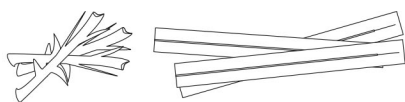
①固形の着火剤(煙突の加熱用)

- ・火を付けてから煙突内に落とせる物
- ・用意できない場合は、なくても大丈夫です。



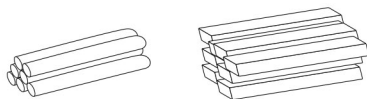
②着火用の薪(焚き付け)

- ・太さ1.5cm位まで。
- ・良く乾燥した使用済み割りばしや樹皮等
- ・着火～炎の安定用



③細い薪

- ・太さ2cm～3cmくらい
- ・着火後の炎を安定～強火調理用



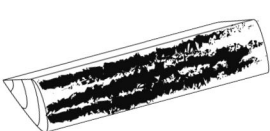
④中くらいの太さの薪

- ・太さ4cm～5cmくらい
- ・中火調理用



⑤太い薪

- ・太さ5cm以上の薪
- ・弱火～保温調理用
- ・長時間ゆっくり燃えます。



8 煙突を暖めます。(固形着火剤がある場合)

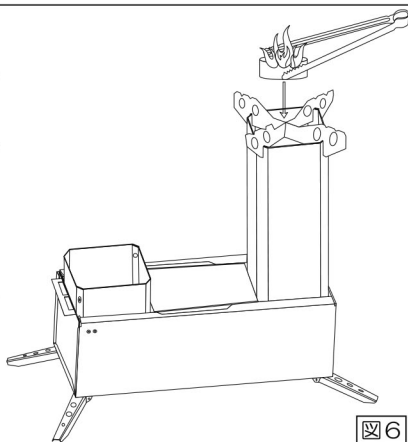
※固形の着火剤が無い場合は9へ進んでください。

①煙突側に火をつけた固形の着火剤を入れます。

この際にやけどをしないよう市販の火ばさみを使用してください。

②1～2分程度おいて、煙突を暖めてください。

この作業により 焚口側から煙突側への気流が発生します。



⚠ 注意

- テーブルやベンチなどの上では絶対に使用しないでください。
- 使用中に発生する熱で地面が焼けます。芝生など枯れては困る場所で使用しないでください。
- 安定した地面の上で使用し、強風や製品に水のかかる場所で使用しないでください。
- お子様だけの組立・使用・収納は絶対にしないでください。
- 組立・収納時は必ず滑りにくい手袋を着用してください。
可動部分に指や手をはさまないようにご注意ください。
金属断面・鋭利な角で手や指を切らないようにご注意ください。
- 使用中はお子様や周囲の人が触れないよう安全に配慮してください。
- 焚口の深さよりも長い燃料を使用する場合は常に燃焼状況を確認してください。
- 調理器具などを併用する場合は、調理器具と食材の重量を量り、耐荷重量以内でご使用ください。
- 鍋などを置く場合は、安定を確認し使用中に転倒しないようご注意ください。
- 本体に触る場合は本体が十分に冷めていることを確認してください。
- 緊急消火時以外は本体に水をかけないでください。
- 燃焼中は急に炎が大きくなる場合があります。使用中は絶対に目を離さないでください。
- 使用中に変形、変色、異臭が認められた場合はすみやかに使用を中止してください。
- 消火後は本体が冷めはじめても火が残っている場合があります。必ず完全に消化し灰が冷めたことを確認してから収納してください。
- 使用している材質の性質上、焼けによる変色、軽度の変形が起きる場合があります。使用には問題はありません。
もし、組立・収納が困難になる、穴が開くなどの大きな変形、変質が認められる場合は使用を中止しご購入の販売店にご相談ください。

⚠ お願い

- 燃焼時は煙・臭い・火の粉が発生します。自治体の条例やキャンプ場のルールに従い安全にご使用ください。
- 廃棄の際はお住まいの自治体の指示に従い処理をしてください。

お手入れ方法

- 本体内部にヤニがたまると正常に燃焼しなくなります。使用後は必ず本体内部の清掃をしてください。
- 使用後は、本体が十分に冷めたことを確認してから灰を取除き、柔らかな布やナイロンブラシでヤニや汚れを落としてください。
- 本体は錆に強いステンレス製ですが、素材の性質上、薬剤や洗剤等の付着、錆びやすい金属の接触等で錆びることがあります。
- 錆が見つかった際は広がる前に、ステンレス用のクリーナーなどを使用して錆を落としてください。

保管方法

- 汚れを取除き、良く乾いた状態で保管してください。
- 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 湿度のある場所では保管しないでください。
- 積み重ね・落下の可能性のある場所で保管しないでください。

1 薪コンロ燃焼の仕組み

●上昇気流を使って高効率燃焼を実現します。

①薪や枝などの燃料が燃え、燃焼ガスが煙突に達すると熱いガスは上昇気流となって勢いよくコンロの外に排出されます。

②排出された空気をどこからか補給しないとイケないため、新しい空気がもう一つの穴つまり焚口から流れ込んできます。

- ・上記①～②の順番で、常に新しい空気が供給され続けるため、燃料は強力に燃焼します。
- ・本体は上蓋を除き、断熱構造となっているため、燃焼ガスの温度が低下せず、煙が燃える二次燃焼が起こります。
- ・常に新しい空気を供給する吸気システムと二次燃焼による強力な火力、コンパクトボディという相反する強みを実現しました。

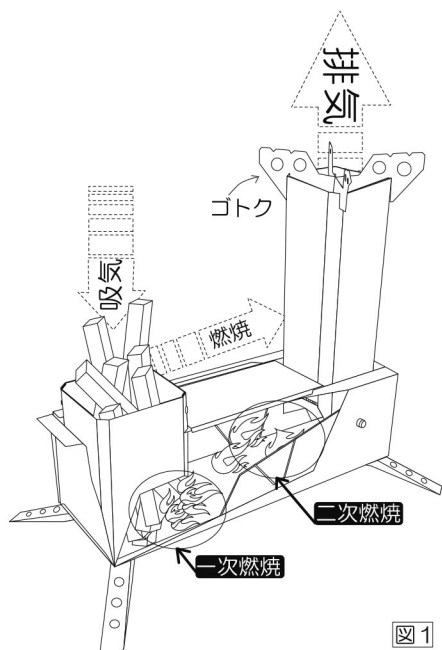


図1

2 ご使用前にご用意ください。

本製品を安全快適に使用するために別途市販品でご用意ください。

必ずご用意ください。

- ・組立用手袋 (手を保護し作業しやすい滑りにくい物)
- ・耐熱性のある皮製又は防災手袋
- ・緊急消火用の水を入れる容器又は消火器
- ・火バサミ
- ・着火用のマッチ
- ・ナイロンブラシ、清掃用の布など

ご用意をおすすめします。

- ・炭スコップ
- ・後片付け用袋
- ・火消壺
- ・固形着火剤 (ゆっくりと火が付くもの)
- ・着火用トーチバーナー
- ・燃料を加工する鉋、ナイフ、のこぎり
- ・たき火用三脚スタンド
- ・ファイヤーピットなどの火力調整用火皿
- ・ゴミ袋等

3 各部の名称

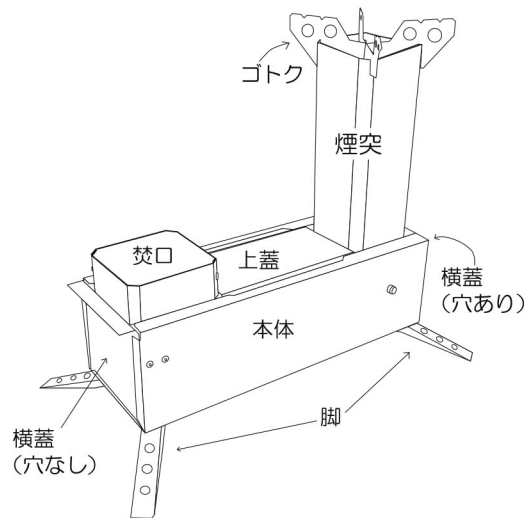


図2

4 組立方法

組み立て時は必ず滑りにくい手袋を着用してください。

- ①4本の脚を外側いっぱいまで開きます。
- ②焚口側の横蓋を取り外します。
- ③上蓋を取り外します。
- ④煙突側の横蓋を取り外します。
- ⑤ゴトクを取りだします。
- ⑥焚口を煙突から外します。

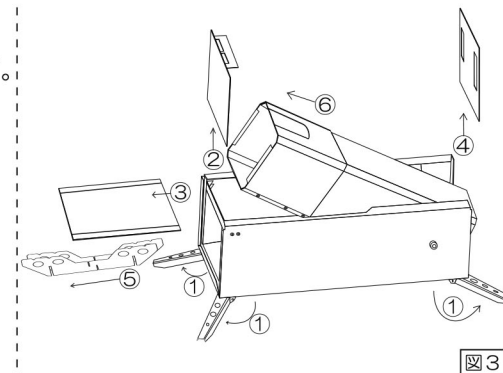


図3

- ⑦煙突を垂直方向に立ち上げます。
- ⑧上蓋を本体に戻します。
- ⑨焚口をセットします。
- ⑩取っ手が外側になるように焚口側横蓋を差し込みます。
- ⑪煙突側横蓋を差し込みます。
- ⑫煙突にゴトクをセットします。

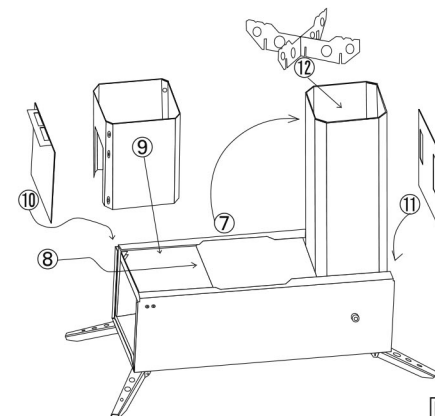


図4

5 設置場所の決定

- ①周りに可燃物がなく、水平で安定する場所にコンロを設置してください。
- ②緊急消火用の水、消火器を手の届く範囲に用意してください。

チェックポイント！

- 下に燃えやすいものがないか？
- 燃えやすい物、熱により影響を受ける物から周囲50cm以上離れているか？
- 上方に120cm以上の空間があるかつ燃えやすいものがないか？
- 風で火の粉が飛んでも安全な場所か？

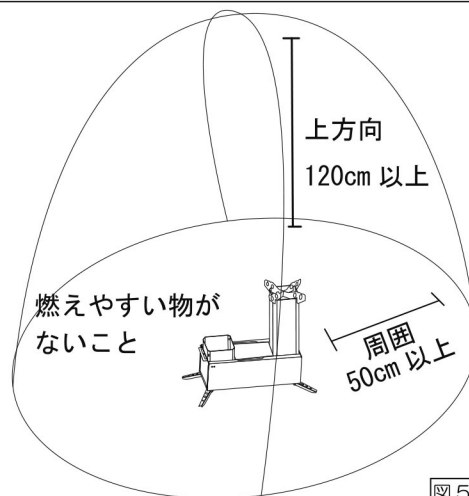


図5